

1140. NEXUS WORLD

【キーワード】

〔施設種別〕 高齢者施設 障がい者施設 子ども施設 住宅 ()
〔運営主体〕 市区町村 法人 NPO 個人 [補助金] 内閣府 国土交通省 厚生労働省 ()
〔建物形式〕 1棟単体型 複数棟集合型 団地型 [建物状況] 新築 増築 改修 一部改修 既存
〔対象者〕 高齢者 障がい者 子ども ファミリー 多世代



昔ながらの団地が多く立ち並ぶ中に立地する、1991～1992年に竣工された国内外の有名な建築家6名が設計を行った集合住宅。その中でもレム・コールハース棟は1992年度に建築学会賞を受賞している。その他にも日本で普段見ることのない海外の建築家たちの建築を見ることができる。

←図1. 航空写真

高速道路の近くに位置し、集合住宅が周りに多く立ち並び、小学校や幼稚園など生活圏になっている

見学日：2020年11月23日

見学者：新実

■基本情報

所在地：福岡県福岡市東区香椎浜

設立年月：1991～1992年

■建物について

博多駅から電車で2駅、JR鹿兒島本線の千早駅から歩いて20分ほどの場所に位置する「NEXUS WORLD」。

駅から「NEXUS WORLD」までの道のりには沢山の団地が立ち並んでいる。その道を進んでいくと突如赤と黄色のカラフルな建物が見えてくる。「NEXUS WORLD」マーク・マック棟である。建物の1階部分にはクリーニング屋や英会話教室等がはいつている。2階以上の住宅部分は様々な組み合わせで赤と黄色の壁面が組み合わさり、窓も正方形や長方形など様々な形の物がちりばめられている。

そんなマーク・マック棟を通り過ぎると見えてくるのがレム・コールハース棟である。レム・コールハース棟は同じ建物が2棟ならんでいる。1階部分はガラス張りで現在はクリニックや銀行のATMなどが入っている。2階部分は石積みの黒い外壁に小さい正方形の窓が等間隔に並んでいる。その上を見ると片側だけに天井が斜めになっているガラス張りのものが見える。下から見えるのは片方掛けで見えないところがどうなっているのかは住



写真2. マーク・マック棟

カラフルな壁面でインパクトのある建物。カラフルなだけでなく、窓もいろいろなつき方をしており、1階の英会話教室のカラフルな柄もあっている。



写真3. スティーブン・ホール棟

凹凸のついた特徴的な立面に窓も様々な大きさの窓が変則的に並べられている。



写真4. 石山修武棟
天井部分に突起が等間隔に並べられているインパクトのある建物。



写真5. クリスチャン・ド・ポルザンパルク棟
建物の最上部に円形の屋根、ホテルのようにも見える外観。



写真6. オスカー・トゥスケ棟
赤いレンガの壁面が特徴。縦一列にそろった窓とステンドガラスも魅力的。

まないとわからないのかもしれない。その建物の横に回ると共用廊下が見え、半地下部分があることや、2階以上は吹き抜けに金網が貼られ道路からも少し見えるようになっている。道路部分からは中がどのようになっているかわからないため是非見てみたいものである。また、レム・コールハースの設計した家に住めるのはここだけだという。

また、その奥を進むと大きく凹凸のついた建物が見えてくる。スティーブン・ホール棟である。道路に面している壁面にはほとんど壁がなく、道路の奥まった所にある壁面は様々なサイズの窓が並べられている。建物の裏側を見てみると裏側もまた様々な形の窓が並んでいる。また、下の方の階の一部分は表面に抜けるようになっていたり、上の階に繋がる階段はつり橋のようになっていたり普段見ることのないような建物になっている。

このほかにも最上階に屋根のような突起物が等間隔に並べられていてインパクトのある石山修武棟、赤・黄・青の建物にの一部に円形の屋根がついていてホテルのような外観のクリスチャン・ド・ポルザンパルク、オスカー・トゥスケ棟、赤いレンガの外壁にステンドガラスの窓がついたオスカー・トゥスケ棟と合計6つの棟が集まって建っている。しかし、石山棟・クリスチャン棟・オスカー棟は一般の人でも通ることができる道に面しておらず、全体をよく見ることができなかった。しかし一部分見ただけでも日本で普段見ることのないような建物で内部までよく見てみたくなるようなものだった。

また、建物だけでなく NEXUS WORLD 全体を記した地図や建物の設計者を示したサイン等細部にまでこだわりが感じられた。